

第73話 最上川・須川の洪水記録 中山町歴史散策

最上川は大河であり、流域面積も広いので大雨の場合は集水量が著しく大きいため、洪水になりやすい河川でした。さらに中山町は、峡谷の出口に当たるため、増水した河川が氾濫することが度々ありました。

宝暦期は毎年のように洪水となりましたが、特に宝暦7年（1757）は、4月21日から雨が2日間降り続けた結果、長崎・達磨寺・寺津・嶋・高屋・鮎洗に大水があり、田畑が流される大災害となりました。

また、菅井日記には、5月25日の大洪水は、長崎から寒河江新宿まで一面の水となり「船町にては、北は長崎、南は上山まで左右に水増し、寒河江より上山まで一面に、その道7里が海のようになつた」と記録されています。

達磨寺村では、5月24日に大雨があり、その夜半から大洪水となりました。このため、田や畑は残らず水浸しとなり、浸水の深さは3尺（約1m）から7、8尺（約2・

6m）にもなつて5月26日朝まで冠水しました。

このため、作物はすっかり押し流されてしまい、泥砂が押し入り川欠けとなりました。2年前の宝暦5年の大凶作で村中が困窮しているところに、今回の大洪水で米はもとより麦や紅花なども収穫皆無となり、今後の生活の見通しが全く立たなくなりました。

そこで、村人たちは、年貢の残金を翌年から10年の年賦にしてみたいと代官所に願ひ出たことが達磨寺村文書に記録されています。

宝暦7年は、馬見ヶ崎川も大洪水となり、5月1日の大雨で翌2日後に堤防が決壊して洪水となり旅籠町、十日町が流される被害がありました。

【用語の説明】
川欠け：洪水により堤防や堰が壊れ田畑に被害をもたらすことをいう。

※参考 中山町史 中巻
第9章第1節 風水害と対策



タイムカプセルの中身は...

3月24日、中央公民館隣の児童遊園で10年前のタイムカプセルが開封されました。

このタイムカプセルは、ひばり保育園が閉園される際、未来の自分に何か記念になるものを残そうと企画されたもので、ちょうど10年前の平成15年3月24日、未来の自分に宛てた手紙や宝物、写真が詰め込まれたタイムカプセルが園児たちの手によって児童遊園の一角に埋められました。

開封当日、会場には当時ひばり保育園に通っていた小学6年生と中高生、その保護者など約100名が集まりました。



10年前にタイムカプセルを埋めたときの様子

集まった人が見守る中、当時の写真と保護者の記憶を頼りに交代で穴を掘ること約1時間。「場所を間違ったのではないかと不安になってきたところで、ようやくタイムカプセルが姿を現しました。保護者は「当時埋めたところよりも深いところにあつて、無くなってしまったのかとははらしました。見つかってよかった」と安心した様子。タイムカプセルが開封されると、歓声や「懐かしい」という声があちこちから聞こえ、友人同士で嬉しそうに思い出の品を見せ合っていました。



参加した秋葉剛仁さん（三軒屋）は、「10年前の自分に再会したような気持ちになった。カプセルに入っていた手紙を読んで、自分も10年の間に大人になったと感じました」と照れくさそうに話していました。



↑当時の先生方も集合

寄附ものがどういふ

小塩老人クラブ末広会（井上博雄会長）が、雑巾205枚を豊田小学校に寄附しました。

この雑巾は小塩老人クラブの皆さんが手作りしたもので、豊田小学校の児童が校舎をきれいに掃除できるようにと毎年この時期に寄附しており、今年で54年目になります。



表彰状をどういふ

平成24年度山形県スポーツ少年団表彰において、次の1名と1団体が表彰を受けました。

◆優良団 中山ソフトテニススポーツ少年団

◆功労者 中山ソフトテニススポーツ少年団 折笠満さん

中山ソフトテニススポーツ少年団 折笠満さん

●4月26日の風呂の日は！

大広間イベント午後1時～

中山昔語りの会 によるとんと昔
志乃舞会 による『舞踊』

ひまわり温泉
ゆ・ら・ら 会員募集中！
QRコードからアクセス！

株式会社 中山町振興公社 ☎023-662-5780



日替わり

手作り弁当 配達承ります！

390円



中山町情報・物産館
0と
☎ 023-674-0575